

写・楽・同・会

令和3年1月31日 61

<https://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>

投稿/投票宛先; kinuko_thompson@hotmail.com

© 2021 Sharakukai

睦月兼題「寒椿」出題：池福楼

註：寒椿は一月の季語

写真俳句



1 黎明の光を抱きて寒椿

早朝の寒さに朝日から暖を求めている様でした。



2 散るまいとより艶やかに寒椿

雨に打たれても艶やかに自己主張。



3 遠読経ぼつり音立て冬椿

遠読経は、遠くに聞こえる微かな読経のつもりです。兼題は寒椿ですが、音の柔らかい冬椿とさせて頂きました。

※「冬椿」は晩冬の季語。



祖父植えし乙女椿や鳥遊ぶ

4 祖父植えし乙女椿や鳥遊ぶ

* 50年も前に祖父が植えた乙女椿が見事な花をつけました。天国に知らせたい気分です。

※「乙女椿」は春の季語。



少しだけ顔出し咲くや寒椿

5 少しだけ顔出し咲くや寒椿

我家の椿はどれも葉陰や奥の方に花が咲きます。もしかして藪椿？



日の光うす紅色は寒椿

6 日の光うす紅色は寒椿



寒椿つぼみばかりが尖りおり

7 寒椿つぼみばかりが尖りおり

椿の蕾はもっと丸いと記憶しているのですが、遅い開花にちょっと不貞腐れた一句。



耐える恋のアリアの哀し寒椿

8 耐える恋のアリアの哀し寒椿

ひとりよがりかもしれませんが、上五字余りの「の」とアリアの次に来る「の」で抒情的な雰囲気を出そうという魂胆です。



見得を切る隈取り凛々し寒椿

9 見得を切る隈取り凛々し寒椿

満開の椿、鮮やかな赤が遠目に歌舞伎役者の化粧を連想してしまう。



寒椿口絵 池福楼

1 寒椿異国の兵士ポピーに似て

季語：寒椿（一月）、ポピー（春）

胸に飾ったポピーは桜に似ていると思っていましたが、今回、椿も同じように見えました。

2 散り際も紅放ちある寒椿

落花直前まで見事に咲く椿に潔よさを感じる。

3 山肌に張りつく紅や寒椿

このような椿がありました。

4 虚空へと散るさざんかや骨（こつ）の白

季語：山茶花（初冬）

実家の庭に山茶花を贈ってくださった方が他界されました。

5 ジョギングにエールを送る寒椿

ジョギングの途中でいつも見て行く寒椿があります。

6 落ちて尚咲くが如きの椿かな

季語：椿（春）

椿は花弁が散るのではなく花全体が落ちるので、落ちた当初はまるで地から咲き出たように見えます。

7 寒椿光のように庭を照らす

8 色隠しつぼみ膨らむ冬椿

季語：冬椿（晩冬）

どんな色の花が咲くのか開花が楽しみ。

9 青磁器に一輪二葉寒つばき

短歌

準坊

マスク越し見つめられてる店員の目元涼やか口元見たし

マスク姿に違和感が無くなりましたね。マスク美人が多くなりました。

準坊

ガースーとおもねる総理誰の知恵？

<何か勘違いしてる……。大丈夫かいな！

会食が中毒になりハシゴかな

情報収集て言ってるけどコロナ禍の中で度が過ぎる。

おまけ俳句

北切雀

ぽすぽすと猫の足あと雪を行く

季語：雪（冬）

新年になってイギリスとしてはかなりの雪が降りました。寒がりの猫としても火急不可欠の外出があったのでしょうか。

写真投稿



iSAMU

エアープランツの花



iSAMU

梅檀（せんだん）の実



北切雀

初冬の紫陽花

イギリスでは紫陽花は開花時期が長く、それが好まれるのか庭木として人気があり、よく見かけます。撮影：2020年10月30日

令和2年12月「自分にとっての癒し」（出題：読者CSさん）の作品と投票結果

<< >>は作者コメント、* は読者コメントです。

* 初めて「その月」の枠を外し「年間を通した句」の試みでしたが、個性あふれる秀句が揃ったと思います。

写真俳句 投票数：27

一席 焙煎の香り揺らいで律の風 準坊（10票）

<< コーヒーブレイクは至福の時間。>>

※「律の風」（りちのかぜ）は秋の時候の季語。



- * なんとも美味しそうな湯気。季語がまたおしゃれで素敵です。
- * これはもう、たまりません！写真も句もいいですね。香りが漂ってきそうです。
- * こちらにまで、焙煎の香りが漂ってきそうな写真と句です。
- * 「律の風」初めて聞く言葉で勉強になりました。
- * 「律の風」難しい季語を教えてくださいました。
- * コーヒーの香りが漂ってくる様です。
- * コーヒーの淹れたての香りそのまま癒やし効果があります。
- * コーヒーの写真がすごい。広告のグラビアにそのまま使えそう。
- * 季語がとてもステキ。

佳作（令和2年12月号掲載順）



時間わず癒しの富士や山眠る 千泉

<< 子供の頃から今もなお富士山に出会うたび嬉しい気持ちになります。>> ※「山眠る」は冬の季語。

- * 初夢ベスト1の貫禄。いつ見ても胸膨れ、かつ清々しい気持ちに。
- * 富士は誰が見ても癒しを感じる存在。日本人の遺伝子か。

銀杏落葉弾む子供の声遠く 昼寝覚

銀杏の落葉で黄色に染まった広場の向こうでは子供たちが歓声を上げて遊んでいました。

※「銀杏落葉」は初冬の季語。

- * 子供たちへ向ける温かい目を感じます。子供は未来。すくすくと育て欲しい。
- * 映画の一シーンのようです。



五月晴れ命脈つなく雲五筋 池福楼

<< コロナで明け暮れた一年。東京の皐月の空にブルーインパルスの慰安飛行。患者や医療従事者への癒やしに多くの共感を得た。この光景を見た私自身も。（借り画像です）>>

※「五月晴れ」はもともとは旧暦5月の季語だが、新暦5月の季語として定着している。

* コロナ一線で懸命に従事する方々。頭が下がります。



少し呑む気持ち落ち着く冬の夕 梵木

※「冬」は冬の季語

- * さりげなく置かれた眼鏡が効いた写真。仕事が一区切りついた安堵感。
- * 晩酌でも食事でもない時間の酒、心良い酔いが自分を解放する瞬間。
- * ワインや日本酒を飲むと体が暖かくなり、ほっとしますね。「飲む」と「呑む」、お酒の場合「呑む」を使うとがぶ飲みするようなイメージになりますが、あえて「呑む」が使われたのは何か理由があるのでしょうか？

とろとろと梅干しずむ粥すする 北切雀

<< 元気な時でも時々食べたいお粥と梅干し。重湯たっぷりが好き。>>

※「梅干」は晩夏の季語

- * 上五の表現が良いですね。酸っぱさもたまらないですね。
- * 我が家も時々おかゆを食べます。もちろん梅干をお供にしますが、母の作ったぬか漬けが私は好きです。
- * とろとろになったお粥は、たまに無性に食べたくなりますよね。
- * 句がわかりやすく、癒されます。
- * 梅干に粥、日本の味。私も癒されます。上手くまとめてある句ですね。
- * オノマトペが効いていて中七、下五のリズム感と相まって何か物語を感じる魅力的な句です。



炬燵入りAI音の心地良さ iSAMU

<< AIスピーカーは音声の指示で様々な音を再現してくれます。調べもいいのですが、水や小鳥などの自然音がより癒されます。>>

※「炬燵」は冬の季語。

- * 新しい癒しの形。これからはテクノロジーを味方にしたいです。
- * 昔風のこたつと今のAIの対比が面白い。



愛憎の憎を忘れる春うらら 一枝

<< ごくたまにですが、自分が優しさだけになってるなあという実感があります。ネガティブ思考が消え失せる貴重なひととき！>>

※「春」は春の季語



- * 優しさだけで生きて行けたら最高です。
- * 水面に映りこんだ樹々が動く表情が面白い写真。寒さも緩むこの頃、気持ちも自然と優しくなる。
- * ほっこりする愛らしい写真で大好きです。回りの全ての愛おしい命の大切さを教えてくれますね。
- * 作者のコメントが素晴らしい。俗人の私としてはこんな自己肯定ができる心境になりたいものです。
- * 水面の様子が油のように見える。そして母鳥の後を追う雛がたったの二羽なのも気になります。



御朱印帳開くページに色葉散る 久芽

<< 御朱印帳いつの間にか5冊になりました。

※写真は準坊さんより拝借。>>

※「色葉散る」は秋の季語

- * きれい！また今年も御朱印帳が増えるのが楽しみです。
- * 旅の思い出に浸り、美しい風景が蘇る。こんなひと時の「癒し」いいですね。

俳句 投票数：23



癒し画像 読者CSさん

癒しをくれた子達。今はテレビの動物番組で癒されています。

一席

家事中断炬燵に入りてうとうと 久芽 (6 票)

<< 炬燵に入ってゴロゴロするのが最高です。>>

季語：炬燵 (冬)

- * ダメ！炬燵に入ったら最後、動けなくなる。あるある感あふれる句。
- * 私なら中断どころが切り上げです。魔法にかかったように眠りますよ～。
- * 炬燵は魔物、入ると出られなくなり、そのうち儼が重くなってきます。

佳作（令和2年12月号掲載順）**1 爪出してあくびする猫小六月 昼寝覚**

季語：小六月（小春、陰暦10月）

- * この句は好きですねえ。ぐーんと伸びて弧を描く猫の背中が見えます。
- * 小春ののんびりした長閑さがいいですね。
- * 平和だなあー、心が和みます。

3 ボイラーはご機嫌斜めぬるい風呂 北切雀

季語：ボイラー（冬）

<< ガス屋に電話しなくては。>>

- * 熱い湯よりもぬるめの湯にゆっくり浸かるのもリラックス。
- * 私は、ボイラーが突然故障しお風呂に入れない経験をしました。お気を付けください。
- * 冬にボイラーのご機嫌を損ねると大変です。
- * ぬるめのお風呂に長く浸かるのは贅沢で気持ちの良いもの。温泉旅行が出来ない今ならおうちでラジオでも聴きながら…

4 リス小虫 亡き娘の化身か 名呼ぶ庭 マム

季語：栗鼠（秋）

<< 娘は野生のリスが家の窓から見えるロンドンの穏やかな暮らしが好きでした。>>

- * 切ないですね。ちよろちよろした栗鼠の動きを「リス小虫」とした上五が新鮮で巧み。
- * 野生でも愛玩動物でも傷ついた心を癒してくれる。当家にも猫がかつて4匹居ましたが、今もその思い出が慰めてくれます。

5 席探しコートを脱ぎて寄席囃子 準坊

季語：コート（冬）

<< 寄席が好きで機会があれば出かけてます。出囃子が聞こえてくると和みます。>>

- * 笑う門には福来る。
- * 50年以上前若かったのに寄席に行った事を思い出しました。癒されましたので2票投票します。
- * 寄席も癒やされますね。
- * 笑いの中に身を置く、良い趣味ですね。

6 なぐさめといやしあたえし秋高し 千泉

季語：秋高し（秋）

<< 秋空が大好きです。>>

- * 秋晴れの青。どんな景色もきれいに見せてくれますね。
- * 秋空を見上げると気分も晴れますよね。
- * 真っ青な空を見ると、いろんな想いが巡ってきますね。

7 涼風の吹き通る宵司馬を読む 池福楼

季語：涼風（晩夏）

<< 司馬遼太郎の歴史小説が好きです。夏の夜、涼風と冷えたビール片手に最高です。>>

- * 司馬遼太郎は私も好きですが、ビールと読書、そこへ涼風。これ以上なにを望むか。
- * まさに至福の時ですね。

8 冬の4時寒さ感じる夕日かな 梵木

季語：冬（冬）、寒し（冬）

- * 「写楽句会」の横書きを意識して「4時」とされたのでしょうか、「自由俳句」縦書きの準坊さんの句は「四時」。数字の表記で句の印象がガラリと変わるの面白いです。

マム

「おかあさん」目閉じつぶやく我が声は亡き娘の声によく似て嬉し

- * 親子は顔だけでなく声も似るとというのが、当たり前のようにも、不思議でもあります。
- * 娘さんへの哀惜の心情がほとぼしる。心に響く歌です。

準坊

歩数計連れ立ち歩く同じ距離歩幅の違い妻勝ち誇り

<< 散歩に出て歩数計は自分は9500歩、妻は一万歩超え。歩数で負けました。>>

- * 歩幅を狭く回転数が多い方が健康には良いと思うが？

北切雀

オンライン ネット不調も笑い種 Zoomは癒し ロックダウン

- * 日本も緊急事態宣言で夜の盛り場から灯が消えた。ヨーロッパはさらに深刻。こんなときこそ笑いを。

川柳

準坊

原因は加齢と言われ空笑い

<< 耳鳴りで医者診断ニヤリと一言「加齢からですね」だって。>>

- * 患者の気持ちを逆なでする、診断を加齢で済ますのはロクな医者ではない。

菅さんは上から目線が俯瞰的

<< 「俯瞰的、総合的に・・・」何を言ってんだか。>>

- * 支持率30%のガースーには今すぐ降板してもらいたい。

写真投稿

iSAMU



黒松としめ縄



鯉



臭木の実

- * iSAMUさんの写真は質量ともに素晴らしいのですが、さらに毎月投稿と言うのはなかなかできない事です。2020年も楽しませて頂きました。

写真いいね！



時間わず癒しの富士や山眠る 千泉

* 海外組としては胸に迫る写真です。



焙煎の香り揺らいで律の風 準坊

* まず湯気に圧倒され、注がれる珈琲の輝きやカップの表面に揺れる光の反射にも唸ってしまいました。全体に清潔感と香り溢れる、おいしそうな写真です。

自由俳句

* 3句とも肩の力を抜いた句が楽しい。生活のメモか日記のような効果があるのですね。

おこ ありがたさひとしお沁みる去年今年

<< この一年を無事に乗り切ることができ、有難いと思う事しきりの年の暮れです。>>
※「去年今年（こそことし）」は新年の季語。

* 全く同感です。「相変わらず」が何よりとしみじみ思います。

準坊 四時発走秋天翔る馬を見し

<< 先日夕方に散歩をしていて、偶然面白い時計を見つけ写真を撮りましたが一句添えてみました。>>
※「秋天」は秋の季語

* 競馬にはあまり興味がないのですが、秋晴れを疾走する姿は美しい。



北切雀 コロナコロナ癒しは毛糸冬ごもり

<< ロックダウン同様の外出規制が続きます。三段切れの句ですが、編み物三昧の日々。>>
※「冬ごもり」は冬の季語

蕎麦買って餅買って待つ除夜の鐘

※「除夜の鐘」は冬の季語。「蕎麦」は単独では季語にならない。「餅」は単独でも冬の季語とする歳時記もある。

* 餅は冬の季語ではないでしょうか？でも季語の「除夜の鐘」をより強める意味で許されるのでしょうか。
作者：許されたい！

- * 如月2月はiSAMUさんから「梅」、弥生3月は一枝さんから「橋」、卯月4月はおこさんから「四月」と出ています。
- * 令和2年師走12月号の作品の写俳、俳句の中で「いいね」と思われた2作品の番号を投票して下さい。
- * 句とは別に、写真として特にいいと思われる写俳作品がありましたら「写真いいね!」として投票下さい。
- * 投票しなかった作品へのコメントも遠慮なくお寄せ下さい。短歌、川柳も大歓迎です。
- * 1月号への投票、2月号作品への投句、投稿の締め切りはともに2月20日です。
- * おまけ作品、珍事報告など書き込みの他、読者さんからの写真や句の投稿、兼題提案もお待ちしています。
- * 今月1月号からは投票方法が少し変わりました。持ち票数は2票と変わりませんが、従来通り写俳、俳句それぞれ2票ずつの投票でも、特に気に入った1作品に、持ち票の2票を使つての投票でも結構です。
- * 今年から「この写真で一句」という3ヵ月毎の部門を始めました。兼題は言葉ではなく写真です。
 1. 兼題写真から自由に発想して「俳句」を詠んで下さい。
投稿期間は3ヶ月、締め切りは3月20日、まとめて4月号に発表します。
投稿期間中の何月の句でも自由ですがその季節、季語を詠みこんで下さい。
 2. 川柳、短歌と同様に投稿は自由です。
 3. 作品は記名で投票の対象外となります。
 4. 1月～3月の最初の兼題写真は池福楼さんから、以下の写真を頂いています。
 5. 4月～6月の兼題写真を募集しています。



「写楽句会」(五十音順)

池福楼、iSAMU、一枝、おこ、北切雀、準坊、隅っ孤、沈丁花、千泉、久芽、昼寝覚、梵木、マム
筆責：北切雀 校正：準坊、池福楼

写楽句会 連絡先：kinuko_thompson@hotmail.com

© 2021 Sharakukai

写楽句会 : <https://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>

四季の森空間 : <https://isamusouma.web.fc2.com/>

今年もよろしくお願ひいたします